

1 月定例記者会見資料

◆幸若舞（こうわかまい）

幸若舞は、室町時代に発祥し、戦国大名に庇護されました。特に、織田信長をはじめ豊臣秀吉・徳川家康など、時の権力者が好みました。しかし、幕末になると、時代の流れや趣味の変化などにつれて次第に衰え、その発祥地の福井県丹生郡朝日町（現

えちぜんちよう越前町）でも明治維新後に絶えました。福岡県みやま市瀬高町大江地区では、「大江のめえ」とよばれて昔の姿をそのままに伝えています。

みやま市瀬高町大江に伝承されている「幸若舞」は公式には「大頭流幸若舞」と言い、今日に伝存する唯一の幸若舞として、日本芸能史の上でも極めて高く評価され、昭和51年5月には国指定重要無形民俗文化財として指定されました。

現在では毎年1月20日に五穀豊穰を祈願して大江天満神社境内の「舞堂」で、「幸若舞保存会」の人々によって奉納上演します。

1. 日 時 令和4年1月20日（木） 12:00～

2. 場 所 みやま市瀬高町 大江天満神社境内「舞堂」

3. 演 目

曲 目	上 演 者	上演予定時刻
濱 出	小学5年生（3名）	12:00～12:25
日 本 記	小学6年生（4名）	12:30～12:50
和泉ヶ城（四）	成 人（3名）	13:00～13:25
安 宅（上）	成 人（3名）	13:35～14:05
安 宅（下）	成 人（3名）	14:15～14:45

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、無観客で実施する場合があります。ただし、報道関係者の取材につきましての制限はいたしません。

【問合せ先】

社会教育課 市史文化財係（担当：猿渡）

TEL 0944-32-9183